

平成29年度 第1回小牧市児童館運営委員会会議録

日時	平成29年7月12日 水曜日 14時～15時20分	
場所	西部コミュニティセンター 中会議室	
参加者	運営委員	永井勝彦、丹羽三枝子、田中佳子、船橋由美、山岸伊久美 増田直美、吉原文子、沖本喜久江、大野幸佳、東谷昌子
	事務局	小塚部長、永井課長、松永主幹、清水センター長、野地館長、 岩井館長、波多野館長、渡辺館長、水野館長、芦田館長、坪井 館長、北川主任、小川
欠席者	運営委員	0人
傍聴人	0人	
司会	永井課長	
司会	<p>本日はお忙しいところ、会議にご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>ただいまから、平成29年度第1回小牧市児童館運営委員会を開催します。私は、司会を務めさせていただきますこども政策課長の永井と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、本運営委員会委員の変更についてご報告させていただきます。4月1日付けの関係組織の人事異動に伴いまして、委員の変更がありましたのでご紹介させていただきます。</p> <p>竹谷 竹久 委員、古澤 照美 委員、山下 美和 委員が退任され、新たに吉原 文子 委員、大野 幸佳 委員、東谷 昌子 委員に本運営委員会委員をご承諾いただきました。</p> <p>委嘱状につきましては、本来ならばお一人ずつにお渡しするのが本意ですが、時間の関係上、テーブルの上に置かせていただきましたので、ご了承ください。</p> <p>ここで、会議の定足数に関して報告します。小牧市児童館の管理に関する規則第14条第2項で過半数5名の出席が必要とされていますが、本日は10名の委員が出席しており、会議は成立しています。</p> <p>また、この会議は、公開となっておりますが、ただいまのところ傍聴者はありません。</p> <p>では最初に、こども未来部長の小塚より、あいさつを申し上げます。</p> <p>皆様、こんにちは。ただいまご紹介いただきました部長の小塚でございます。本日はご多忙にもかかわらず、第1回小牧市児童館運営委員会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、皆様方には本市の教育・福祉行政の推進に日頃より格別のご支援・ご協力をいただき、改めて厚くお礼を申し上げます。</p> <p>さて、本市では、昨年4月に施行しました「小牧市地域こども子育て条例」</p>	

こども
未来部長
あいさつ

	<p>の理念や、都市ビジョンの一つである「こども夢・チャレンジNo1都市」の実現に向け、これまで以上にこどもたちが自らの未来に夢や希望をもって成長できるよう、支援してまいりました。今年度から、次第4の「再開発ビルラピオへのこども・子育て施設導入について」にありますように、ラピオに子育て支援の拠点を移すための事業が始まりますので、今後、児童センターについても、機能拡充を図ってまいります。</p> <p>本日は、委員の皆様にご意見をいただき、今後よりよい児童館事業を展開していけるようにしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
自己紹介	運営委員、事務局の順に自己紹介。
委員長	それでは、議事に入ります。平成28年度児童館実績報告について、事務局の説明をお願いします。
清水センター長	<p>平成28年度児童館利用実績報告について、説明をさせていただきます。お手元の資料1-1をご覧ください。</p> <p>個人任意利用者数とは自由来館者の数値です。中学生や高校生は、卓球や、学習室のある児童館ですと勉強をしに来館します。中学生や高校生の利用者数は前年度比でやや減少していますが、幼児、小学生、保護者の来館者数は増加しています。0～18歳という幅広い年齢の子どもたちに利用してもらえよう、各館工夫して運営していきたいと思えます。</p> <p>続いて、資料1-2をご覧ください。各児童館には、子育て支援室があります。0歳から3歳までの乳幼児と保護者が、ゆったりと過ごしていかれます。最近は生後数ヶ月のお子さんを連れて利用される方もあり、低年齢化を感じます。</p> <p>また、父親や祖父母の利用もあり、子育てに関わる方が様々利用されています。全体での利用は増加傾向にあり、地域の子育て中の方に気軽に利用していただけるよう、各館心がけています。</p> <p>支援室に来る方は育児の相談もされます。育児相談の欄は相談を受けた件数です。</p> <p>続きまして、児童館の行事活動報告について説明させていただきます。お手元の資料2-1をご覧ください。</p> <p>「遊びを通して友だちとの輪を広げる」という目標で行事の計画を立てています。子どもたちや保護者が楽しんでいただけるということを考え、季節的な行事、伝統的な行事、児童センター独自の行事をアイデアを出しながら、前年度の反省をもとに進めています。</p> <p>行事名の頭に「ちびっこ」が付くものは乳幼児親子が対象の行事です。日々育児で単調な毎日になりがちな親子に、季節を感じて、楽しんでいただける</p>

味岡児童館長

よう、計画しています。その内容については、親子でリズム遊びをしたり、行事にちなんだおはなしを聞いたり、簡単な制作をしたりしています。ちびっこ七夕では影絵をしたり、ハンドベルを演奏したりしました。このように、来館者の方に参加してもらえる企画もしていきたいと思っています。それ以外の行事は小学生、幼児親子に向けた行事です。

大人が遊びを提供する係でなく、子どもたちの発想を取り入れていこうと職員で考え、7月のお化け屋敷ではこどもスタッフを募り、計画・準備をしました。異年齢との関わりや、自分の考えが実現されることで子どもたちは満足感が得られました。遊びを自分たちで考えていく楽しさを感じてほしいです。

年齢や家庭によって様々なニーズがあります。それらを考慮し、気軽に来て楽しめる児童センターになるよう、職員ともに心がけていきたいと思えます。

(資料2-2により説明)

味岡児童館では、「地域の輪、友だちの輪を広げよう」という目標のもと活動を行ってまいりました。「地域ぐるみで育ちあう児童館」「多世代で育ちあう子育て支援」「中高生の集える児童館」「多文化共生できる児童館」「社会教育を担う児童館」という5つの理念が根本にあります。サポーターや親父の会の方々に支えられながら、イベントを行うことができました。

1月には児童館の4周年を祝って「ハッピーバースデーぱるもあじおか」という企画で餅つきを行いました。3月には地域のおこしものというお菓子を、かまどを使って地域の方の協力をいただきながら作りました。運営を行う上で地域の方々の活躍は欠かせないものとなっています。

また、学校とも連携を取り、吹奏楽部をお呼びしてコンサートを行いました。これも行事としては定着してきております。

子育て支援室についても、常時2名の支援員を中心に利用者との信頼関係を築いており、ママたちの育児サポートの一役をかっています。生後数ヶ月から来館される方も増えてきており、親子でふれあいを楽しむ「赤ちゃんサロン」は大変好評でした。

祖父母や父子での参加も増えてきていますので、パパの育児参加応援として、パパのベビーマッサージなどを企画し、パパがお子さんに関わるきっかけ作りも行いました。

英語の講座やヒップホップなど、最近のニーズに沿った行事も企画しており、好評を頂いております。

児童を対象にした行事も様々企画してまいりました。味岡児童館の特徴であるかまどを使った行事は、大変人気がありました。

こどもの持っている力を発揮できる場が学校以外にもあるといいなと考え、「ぱるもあ発表会」や「ぱるもあお楽しみ会」で子どもたちの特技を披露

する場を設けました。

日頃から職員と来館者の方の繋がりを意識して、運営を行っております。今年度も人との繋がりを大切にしながら活動を行ってきたいと考えております。

篠岡児童館長

(資料2-3により説明)

篠岡児童館は、「地域ぐるみでの運営」「多世代での子育て支援」「中高生の居場所」「多文化共生」「社会教育の展開」という5つの理念で運営しています。

「地域ぐるみでの運営」として、5月の児童館まつりを行いました。地区の運動会と同時開催しております、ジュニア奉仕団の中学生や地域サポーターの協力のもと、毎年大勢の人でにぎわっています。

2つ目の「多世代での子育て支援」として、2月にもちつきを行いました。お父さんやお子さんがつき手となり、一緒に楽しむ姿が見られました。地域のおやじの会の方の協力の下、作りたてものを他の人と一緒に食べるという、体験の機会となっています。

3つ目の「中高生の居場所」として、8月に夏祭りでの肝試しを行いました。夏祭りでは、中学生がボランティアのガイド役を担ってくれています。ときにはこうしてイベント運営に関わることで、子どもたちはより自身の場所として親しみが増すように感じます。

4つ目の「多文化共生」として、毎月のコンサートがあげられます。琴、ピアノ、マリンバなど様々な楽器で、七夕やクリスマスなどの季節の行事も取り入れながら、多様な演目で行っています。

最後に、「社会教育の展開」では、プラネタリウムを楽しもうという企画がありまして、大学生も参加して宇宙や星座の話をしていただきました。参加者も年の近い大学生と積極的に交流をしていました。

これからも地域の方のご協力を仰ぎながら、楽しく遊べる児童館でありたいと思っております。

小牧児童館長

(資料2-4により説明)

小牧児童館は、「色々な遊びや体験を通して友達の輪を広げる」、支援室では「ほっとできる、家庭的な居場所作り」を目標に運営を行っています。

幅広い年齢の方に親しんでいただけるように、季節感や伝統行事を大切にしながら日々企画しています。

はじめの一步(11月)ではパン教室やエクササイズなどを支援室に来るママたちが講師になって行いました。

夏祭りやおばけやしきでは、テーマを決めて、利用者の方に楽しんでいただいております。地域の学生、ジュニア奉仕団やここボラの生徒たち、父母クラブ、こどもプランナーの協力を借りながら、子どもたちもボランティア

の方たちとコミュニケーションをとりながら行っています。

今後も、地域交流会を始め、積極的に地域との交流を図り、地域と関わりをもちながら、児童館運営を行っていききたいと思います。

小牧南児童館長

(資料2-5により説明)

小牧南児童館では、「遊びや体験活動をとおして、仲間作りや交流を楽しむ」を目標に、運営を行っています。地域の方々の協力の下に行事を開催し、子どもたちが様々なことに触れるきっかけを作ることができました。

4月の新一年生歓迎会では保護者の方が見守る中、児童館のルールを伝えたり、ゲームや劇で楽しんだりしていただきました。

7月の七夕まつりでは運営協議会にいただいた笹に短冊を飾り、七夕の雰囲気を楽しんでもらいました。

夏休みには交通安全教室、お相撲さんと遊ぼうを母親クラブと共催で行い、多くの親子に参加していただきました。8月は多くの夏休みイベント講座を行い、中でもこどもプランナーが企画したお化け屋敷が大好評で、更なる目標につながったと思います。

10月は三世代交流会の中で、ハロウィン仮装大会を企画しました。子どもたちが時間をかけて作った衣装を身につけて登場し、とても盛り上がりました。

12月のクリスマス会では講堂でのゲームに、多くの親子が参加してくれました。職員を交えての交流ゲームでは、参加者と職員の交流もでき、とても活気のあるひと時となりました。

新年お楽しみ会では講師の方の皿回しや剣玉等を見ていただいた後、体験タイムとして、子どもたちに指導をしていただきました。

2月3月は節分、豆まき、ひな祭り等を地域運営協議会と共催で行いました。甘酒を振舞い、みんなで子どもたちの健康を願いました。

平成29年度も、地域の皆様に喜んでいただけるよう、努力してまいります。

北里児童館長

(資料2-6により説明)

指定管理2期目の初年度といたしまして、28年度は初心に帰ることを意識した一年でした。小中学生が1人でも遊びに来ることができる児童館を目指して、新しい取り組みを取り入れた結果、利用者数は増加し、特に本来の児童館の姿として小学生の利用者が増えた嬉しい一年でした。

支援室では、わざわざ相談に来られる姿もあり、ささいなことでも支援室に来て話すことが安心に繋がるというような毎日を送っております。支援員が仲立ちとなり、ママ同士が友だちになることも増え、支援室が出会いの場所になっています。

6月のP e e k - a - B o oでは、英語に早く関わりたいという保護者か

らの要望に応じて実現した講座です。両親での参加もあり、父親の育児参加が目立った一年でした。28年度は6ヶ月間の開催でしたが、29年度は、要望により毎月開催を予定しております。

7月の夏祭りは母親クラブの協力の下、盛大に行われました。8月の水中ゆらゆらコイン入れという遊びでは過去最高の延べ人数を記録し、この遊びを目的に来館したという方もたくさんいました。単純な遊びではありますが、こどもたちはとても集中してやっていました。

2月には、併設の北里市民センターをお借りして初めて映画会を行いました。本当の映画館のように楽しんでいただけるよう、座席指定券を発券しました。

このような児童館の催しをきっかけに、家族の関わりが一つになってきているように感じます。

地区のボランティアの方々に助けをもらいながら常に新しいことに取り組み、また安心できる場所であっていきたいと思っております。

西部児童館長

(資料2-7により説明)

西部児童館は、「参加した人たちが笑顔になれる取り組みに」を目標に、行事を進めてまいりました。その中でも未就園児対象の行事は、前年度よりも参加者が大幅に増加しました。施設にある畑でのジャガイモ堀りや、春・秋の運動会、冬のクリスマス会など、西部の季節の行事として定着してきたのだと感じております。「おすもうさんとあそぼう」では過去最多の参加がありました。開催を続けていく中で、地域の方々にも周知されてきたことを嬉しく思います。様々な行事を行う中で、駐車場の整備や事前の準備など、今後検討をしていく必要性も感じております。

8月の夏祭りは、運営協議会をはじめ、地域住民の皆様、中学生ボランティア、こどもプランナーなど、多くの方々の協力を得て、開催することができています。

また、昨年2月には母と子クラブの子どもたちとおみせやさんごっこを開催しました。クラブの子どもたちはお店側として、いつもとは違う表情で、楽しそうに参加している姿が印象的でした。

来館の目的は様々ですが、根本的な部分として、どの来館者にもきてよかった、楽しかったと言ってもらえるよう、今後も取り組んでまいりたいと思っております。

大城児童館長

(資料2-8により説明)

指定管理2期目で8年目の運営をさせていただきました。大城児童館も10人村の児童館として5つの理念で運営しています。地域との絆も太くなってきたと自負しております。

利用数の合計も年々増えておりまして、28年度は過去最大でした。子育て

て支援室も同様増えています。小牧市の児童館全体を見ても1.5倍ほど増えています。そうした中で、桃花台地区としては小学生がだいぶ減ってきてはいますが、支援室の利用者が増えているので、利用者数が増えています。

親子でイングリッシュやインターナショナルあそびなどを企画して、土日に家族で来館してもらっています。

地域のイベントとも連携しながら、11月のバンブーミュージックフェスや1月のもちつきは地域のサポーターの方に応援していただきながら行うことができました。

8月のわらべ縁日という企画は中学生のジュニア奉仕団や高校生たちが手伝ってくれています。

3月のわらべかんまつりも地域の方の協力や、学校との連携の上、行っています。

12月クリスマスコンサートでは、日本一のジャズオーケストラが今年も来てくださいました。桃陵中学校と光ヶ丘中学校の吹奏楽部とも協力して、コンサートを成功させました。

28年度の中高生の利用者数は6500人くらいで、少しずつ減ってはいますが、自由に過ごしてもらえる児童館として、子どもたちにいろんな形で上手く使ってもらえるようになってきています。

重点目標の「楽しさのシェアリング」として、地域の皆さんと一緒に、楽しんでいけるような児童館を目指していきたいと思っております。

委員長

改めて、いろいろな活動をされていることが分かりましたが、これからは委員の皆さんに意見などをいただきたいと思います。

吉原委員

地域交流会に参加したり、このような場でお話聞いたりすると、小学校との連携の必要性を感じます。生徒指導の面からも、職員同士交流できたらと思っています。また、対象が0～18歳ということで、いつも大変勉強になっています。

田中委員

こどもプランナーやこどもスタッフは、よく通っている子たちから集めているのか、それとも学校へ行って集めているのか、どのような子たちがやっているのでしょうか。

小牧南児童館長

こどもプランナーは現在も募集中で、随時受け付けております。対象としては小中学生がメインですが、それを支える大人のボランティアの方も募集しております。

委員長

児童センターの場合はどうですか。

清水センター長	<p>児童センターでは学校に直接お知らせということではなく、館便りやポスターを児童センター内に掲示物して募集しております。ほとんどが小学生で、現在17名参加してくれています。</p>
委員長	<p>私も以前児童センターへ行ったときにたまたまミーティングをしていました、6年生の子がプレゼンテーションをしていました。すばらしい活動だと思いました。</p>
増田委員	<p>先日募金活動をしていた時に、募金してくれるのは子どもたちが多いのに気づき、活動に興味をもってきている子が多いのだなと感じました。また、9月に西部児童館の防災フェアにジュニア奉仕団がスタッフとして手伝う姿を見て、もっとこどもたちの活動する場が広まるとよいなと思いました。子どもたちは、頼りにされていると感じたら、もっといろんな世界が見られるのではないかと思います。</p>
沖本委員	<p>それぞれの地域に色々な児童館がありますが、家の近くの南児童館はとてものにぎやかで、周りの方でも施設（ふらっとみなみ）を借りる人が大勢います。今までのお話を聞いていても、各児童館、地域との関わりをたくさん持っていていいなと思いました。</p>
船橋委員	<p>児童館の取り組みを聞かせていただいて、子どもだけでなく大人も楽しめる児童館になったなあと感じました。私が子どもの頃の児童館とは様変わりし、すごいなと改めて感じました。</p>
山岸委員	<p>私が子育てしている時は「公園デビュー」でしたが、今や「児童館デビュー」だなとしみじみ感じました。</p> <p>私も主任児童委員の前に放課後児童委員をしている時、計画から子どもたちにやらせて、祭りを行いました。ドキドキでしたが、子どもたちの可能性はとても大きく、大人が思っている以上の力を発揮して、うまくいきました。児童館もキッズサポーターのように、子どもたちが主になって計画したり、お手伝いしたりする活動も多いということを聞いて、子どもの才能を伸ばしてあげることが、子どもも喜ぶし、大人になってからも地域に貢献してくれる子になるのではないかと思います。</p>
大野委員	<p>色々な行事が児童館で行われていてすごいと思いました。児童館に来る子とそうでない子の差があり、あまり児童館に行かない子もたくさん来るように、児童館の活動がもっと広くみなさんに知れ渡って、たくさん来るようになるといいと思います。</p>

東谷委員

毎月、その月にあった行事が企画されており、子どもたちが楽しめる内容になっていて、すごいなと思いました。私は市子連のジュニアリーダー育成委員会に所属していて、そこで集まったボランティアの子どもたちと毎月いろんな活動をしているのですが、参考になることが多かったので、この委員会に参加できてよかったです。

副委員長

報告を聞いて、企画・運営・反省…と日々の努力が利用者数増加に繋がっていると思いました。加えて地域の人たちの協力の下、すばらしい児童館・児童センターになってきたと思います。楽しめた、充実していたという声を聞くので、利用者は満足して帰られていると思います。

子育て支援室の利用もとても増えていて、たまたま支援室の職員に話を聞く機会があったのですが、職員も楽しく働いていて、それが利用者の満足に繋がっていると思いました。

児童館は、子育て中の人たちには心強い場所で、中高生にとっては自分の力を発揮できる場所であると思います。児童館が小牧市は充実していて、子育て世帯にやさしい街だと思います。今後もますます充実してもらいたいです。

委員長

児童館は、育児の入り口として、幼稚園や保育園に入る前の親御さんたちが相談する場所になっていると思いました。

たまたま味岡児童館に入ったときに感じたのは、落ち着いているが、活気があるということです。生徒指導上の問題はありますか、と質問してもほとんどないということで、こどもたちが安心して過ごせるということが情緒の安定に繋がっているのではないかと思います。

また、大城児童館などは一流のミュージシャンを招いてコンサートを企画し、こどもだけでなく大人も楽しめるのがよいと思ったので、続いていくとよいなと思います。

中学生のジュニア奉仕団の活動もみていて心温まります。

色々大変だとは思いますが、楽しい場所を提供していただいている先生たちには感謝しております。また、これを支援してくれている市にもありがたいと思います。

それでは、これで3の議事を終わりたいと思います。次に、4の報告、「再開発ビルラピオへのこども・子育て施設導入について」です。事務局にお返しします。

永井課長

(資料3により説明)

先の定例会で予算が承認されましたので、こども・子育て関連施設の整備に係るご報告をさせていただきます。

整備にあたって、二つの拠点作りを目指していきたいと思っております。一つ目が、「子育て支援の拠点」としての「子育て世代包括支援センター」、二つ目が、「こどもが主役となる拠点」です。「こどもが主役となる拠点」につきましては、こどもたちが楽しみながら、学びや遊び、体験を通じて成長することで、夢に向かってチャレンジする、たくましい力と心を育むことができる場所というものを目指していこうと考えております。この二つの拠点と、既に整備がされておりますえほん図書館等と併せまして、全体を「(仮称)こども未来館」として、進めていこうと思います。

整備の場所は、ラピオの3階と、2・4階の民間テナントを除いた部分を対象とし、これから基本構想を策定しまして、その中身、整備の内容等を固めていこうと考えております。

3階の一部については、先行いたしまして、「子育て支援の拠点」のうちの①～⑤(①乳幼児親子を対象として子育て支援②中央子育て支援センター③保健センターのうち、母子保健機能④市役所等で実施している相談支援⑤一時預かり事業)と、少年センターを併せて整備します。中央子育て支援センターを中心として、「子育て世代包括支援センター」という形で整備を進めてまいります。

その他の部分については、基本構想を策定していく中で内容や規模を検討していきます。「子育て世代包括支援センター」というのは、妊娠期から、子育て期の親子を対象としたワンストップの窓口となります。これまで保健センターが担当していた母子保健の部分と子育て支援センターが担当してきた子育て支援の部分連携して、また、さらに充実して進めていこうとするものです。

今後の整備状況につきましては、またこちらの会議でも随時ご報告させていただくとともに、皆様にもご意見を頂戴することもあるかと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

丹羽委員

現在の中央子育て支援センターの部分はどうなるのか。

永井課長

整備に伴いまして引越しをさせていただきます。関係部署とも調整しまして、あとの利用については考えていきたいと思っております。

委員長

続きまして、次第の5、その他に進みたいと思っております。

清水センター長

5その他に関しまして、次回の児童館運営委員会のご案内です。今回は2月に開催し、来年度の目標設定等を報告させていただく予定です。またよろしくお願い致します。

司会

本日は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。
これもちまして、平成28年度第1回児童館運営委員会を閉会します。
ありがとうございました。